

<株式会社エフエム東京 第 448 回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成 30 年 5 月 8 日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社 10 階 大会議室
3. 委員の出席：委員総数 6 名（社外 6 名 社内 0 名）

◇出席委員（6 名）

|               |              |
|---------------|--------------|
| 横 森 美 奈 子 委員長 | 渡 辺 貞 夫 委員   |
| 内 館 牧 子 委員    | 秋 元 康 委員     |
| ロバート キャンベル 委員 | 川 上 未 映 子 委員 |

◇欠席委員（0 名）

◇社側出席者（10 名）

|   |
|---|
| 富木田 代表取締役会長                             |
| 千 代 代表取締役社長                             |
| 吉 田 常務取締役                               |
| 村 上 取締役営業局長                             |
| 西 川 常勤監査役                               |
| 森 田 執行役員編成制作局長<br>兼 株式会社グランド・ロック代表取締役社長 |
| 延 江 営業局エグゼクティブ・プランナー                    |
| 宮 野 編成制作局編成部長                           |
| 若 杉 編成制作局制作部長                           |
| 高 橋 編成制作局制作部プロデューサー                     |

◇社側欠席者（1 名）

|         |
|---------|
| 平 専務取締役 |
|---------|

【事務担当 森田放送番組審議会事務局長】

4. 議題：番組試聴（約 25 分）

『松任谷由実の Yuming Chord』

2018 年 4 月 20 日（金） 11:00～11:30 全国 38 局ネット

＜議事内容＞

議題 1:最近の活動について

■ 『TOKYO FM & JFN present EARTH × HEART LIVE 2018』について

TOKYO FM をはじめとする JFN ネットワーク 38 局は、1990 年から毎年 4 月 22 日のアースデーに、ステーション理念である「アースコンシャス～地球を愛し、感じるころ」を象徴するコンサートを開催しています。

2011 年の東日本大震災を機に、もうひとつのステーション理念である「ヒューマンコンシャス～生命を愛し、つながるころ～」を加え、コンサートを通じて、「かけがえのない地球」と「地球に生きるあらゆる生命」を慈しむ未来を目指そう、というメッセージを発信しています。タイトルにある「EARTH」と「HEART」は、英語のスペルを並べ替えると同じ言葉になり、「愛する地球と命」という 2 つのステーション理念を表現しています。

29 回目となる今年は、4 月 9 日(月)、Zepp DiverCity にて『EARTH × HEART LIVE 2018』を開催しました。出演アーティストは、今年から 37 局ネットでレギュラー番組を担当している「SPITZ」、次世代の注目アーティスト「sumika」、オープニングアクトには SCHOOL OF LOCK! 主催の『未確認フェスティバル』出身の「SUNNY CAR WASH」の 3 組。

今年はテーマを「～ROCK THE FOREST 森を創ろう～」としました。豊かな森を創るためには、1 種類の木だけではなく、多様な木々を混植・密植しなくてはなりません。人間も同様で、多種多様な人が集まるからこそ、素晴らしい文化や音楽が生まれます。そんな未来の在り方を「明治神宮の森」から学びます。明治神宮の森は、あえて様々な種類の木々を植樹し、それらが共生することで、100 年先に理想的な森が形成されるという構想のもと現在に至っています。多様な民族や文化を持つ人類が共生していく地球を作り上げていく、そんなメッセージを会場でのスペシャルムービーを交えながら、音楽と共に届けました。

なお、コンサートの収益の一部と、来場者の方々からの募金を、JFN アースコンシャス基金を通じて、災害から命を守る森を作る「鎮守の森のプロジェクト」に寄付いたしました。

この模様は 4 月 22 日(日)に特別番組として全国ネットで放送され、また、ABU(アジア放送連合)、EBU(ヨーロッパ放送連合)、アメリカのカレッジステーション・ネットワークを通じて、世界に発信されました。



▲出演者全員で集合写真



▲SPITZ

## ■オーディションアプリ mysta の新人発掘プロジェクトへの参画について



TOKYO FM は、女性向け縦型動画アプリ『C CHANNEL』と『ソフトバンク』が共同でスタートした、未来のスターを応援するオーディションアプリ『mysta』に協業パートナーとして参画することといたしました。

『mysta』とは、新人のアイドルやミュージシャン、お笑い芸人などのタレントが連日投稿する動画を楽しめるサービスで、投稿された動画はユーザーからの応援度合いでランキング化され、ランキング上位タレントには、パートナー企業各社の特性を活かした様々な活躍の場が提供されるという仕組みです。

パートナー企業は 1 業種 1 社に限定されており、他、参加企業はテレビ局から TBS（東京放送ホールディングス）、新聞社から産経デジタル、雑誌社から集英社、映画会社から松竹、レコード会社からポニーキャニオンの参画が決定しており、各々のジャンルで新しい才能発掘展開を行っていきます。

なお、ソフトバンク及び yahoo がプロモーション協力を担います。

TOKYO FM にて展開するラジオ局連動の企画としては、『mysta』アプリ内に「声優」の 카테고리を設け、声のスターを発掘するオーディションを実施。本年 7 月から完全連動番組を JFN38 局ネットでスタートさせ、明日のラジオスターを発掘・育成していきます。毎月のランキング上位者から最終的にグランドチャンピオン大会を開催し、優勝者には、深夜枠にてレギュラー番組を持つ機会を提供する計画です。

**【委員の意見および社側説明】**

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○アースデーのライブは今年で 29 回目になるそうだが、まだ世の中で環境問題が認識されていなかった頃から開催していて、その時代に合わせて変化を遂げていることが本当に素晴らしい。

○「鎮守の森のプロジェクト」への寄付も活動の応援になるが、それに加えて、このような形で取り上げて、きちんと意味づけをして伝えることは大変良いことだと思う。

■植樹をして木を植えることは環境にも良く、さらに植樹した木が成長してできた森が減災へ繋がっていくというのは、ステーションメッセージや、「EARTH×HEART」の企画意図に通づることだと思う。

○「EARTH×HEART」に関して、来年は 30 周年を迎えるそうだが、すでに企画はあるのか。

■30 周年についてはこれから企画していく予定。

【番組名】 『松任谷由実の Yuming Chord』

【放送日時】 2018年4月20日（金） 11:00～11:30 全国38局ネット

【番組概要】

本日までご試聴いただくのは、4月20日（金）に放送した『松任谷由実の Yuming Chord』です。松任谷由実氏は、1973年にファーストアルバム「ひこうき雲」を発売してから今年でデビュー45周年を迎えました。松任谷由実氏は、1982年開始の「サタデーアドベンチャー」以来、数度の番組変遷を経て、現在の「Yuming Chord」に至るまで、約36年間に渡って最も長くレギュラー番組を担当していただいているアーティストです。

また番組では、毎週、ユーミンがあるテーマにちなんだ曲とトークを届けていますが、4月20日の放送では、サカナクションのボーカル・ギターの山ロー郎氏をゲストに迎え、「歌が生まれた場所」をテーマに、初の対談を行いました。2人はお互いの音楽性をリスペクトし合っているアーティスト同士で、最近、ベストアルバムをリリースした、という共通項もあります。

放送では、お互いの好きな曲を選曲したり、相手の楽曲への自分なりの解釈を語ったり、音楽人としての葛藤を吐露したり。日本の音楽シーンのトップを世代を超えて走っている二人ならではの、聴き応えのある音楽談義となりました。

※『松任谷由実の Yuming Chord』では、4月20日（金）と27日（金）の2回に渡って前後編で対談を放送した他、同じく TOKYO FM で山ロー郎氏がレギュラーパーソナリティーをつとめる『SCHOOL OF LOCK!』内『サカナLOCKS!』（毎週木曜 23:10～）でも4月26日（木）の放送回にユーミンが登場し、相互に出演するスペシャル企画を実施しました。



◀ユーミン×サカナクション山ロー郎 収録の様様

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側意見)

○どの世界でも、大御所に若手が話を聴くスタイルの対談はあって、どこかで若手が失言をして大御所の怒りを買うようなことがあればいいなど、ハプニングの構図を期待してしまっているところがある。そのためか、互いにリスペクトしあっているが、ずっと緊張感があるように感じた。番組のエンディングで、ユーミンが「私の分析ではなくて、彼は自分のことをずっと話していた」という感想を述べたのも良かった。ユーミンの番組だからか、冒頭からずっとユーミンの「圧」の様なものがあって、大御所の力を感じた。どこかが突出しているとか、ここをもっとこうすれば良いのに、とかそういうことを感じず、素直にととても良い対談だった。

○若いアーティストと自分の音楽を作る手法がどこで違うのか、一緒なのかなどが、大きな議題としてではなく、2人の会話の中でさりげなく自然にでてきたところが良かった。「恥ずかしい」がいつ「かっこいい」に変わるかなど、意味があって質問している訳ではないところや、山口さんの人間性なども会話から伝わって来た。それぞれの音楽の作り、また、曲の解釈の違いを「それは違う」と言ったりするのが面白かった。前半はクールに感じたが、後半は熱を帯びてきたように感じた。

○自分の好みの音楽と違う世界の話でコメントが難しい。

○サカナクションの音楽に懐かしさの様なものを感じるのは何故だろうなど思っていたが、今回山口さんのトークを初めて聴いて、ルーツがフォークにあったのかと納得した。ギター1つで弾き語れない曲は作らないというのも納得する。真っ直ぐな感じが伝わってきて好感を持った。互いをリスペクトしているのが2人の会話の言葉の端々から伝わってきた。ラジオ番組ということ忘れて話している気がして聴き心地が良かった。他の回を聴いたことはないが、ゲストを招いた時、単なるQ&A番組ではないといいなと期待したい。今回はその点では単なるQ&Aになっていなくて、大変良い内容だった。今後この番組に期待するのは、ユーミンと全く合わない音楽性を持ったゲストとの対談も聴いてみたい。ユーミンはデビューから45周年を迎えるというが、今の今までずっと第一線を走っていて、それは若い人にも伝わるんだということが分かった。

○大変面白かった。それぞれ中身がある者同士の語り合いは本当に面白いと思った。仕事で、別の番組にユーミンをゲストに招いた時、「アルバムにサイン

をもらう」ということをした。映画の登場人物などでも同様だが、対談の場合、2人の互いの距離感や位置関係が分かると、リスナーは聴きやすい。なぜサインをもらったかという、仕事で一緒することは何度かあったが、それよりも前、高校時代に松任谷氏のファンであり CD を購入したということがあったから。この視聴番組でも、山口さんのユーミンとの出会いなどを聴いてみたかった。

○とても楽しく聴かせてもらったので、内容に関しては指摘はないが、あえて取り上げるなら、番組の体裁として、1回で収録した素材を2週に渡り放送する時「来週もまたお越しいただきます」というお決まりの様式はもう古いんじゃないかと思う。1回で収録していることは誰も分かっている。また、番組の前枠・後枠も不要ではないか。対談パートを聴いた後で、内容を振り返っての後枠というお決まりのパターンではなく、いきなり対談に入る、または楽屋などでの会話をそのまま収録して、聴く人がまるで盗み聞きしているようなお得感のある放送をするなどの工夫があっても良いと思う。

○聴く前からすでに面白だろうなというのが伝わってくる組み合わせ。ユーミンが聞き役に徹して山口さんに質問をしていて、若者から新たな刺激を取り込もうとする、いい意味で前のめりなスタンスを感じていたが、ラストで山口さんが自分の話ばかりしていたというジョークが入っていたのがユニーク。表現者としての企業秘密な部分まで聴けた様な気がしてとても楽しめる内容だった。誰もが認めるカリスマスターと、今を時めく若手アーティストの対談にささやかな違和感を感じたのは、山口さんが全く媚びていないところ、しかしそれは逆に今時っぽいのかも知れない。

■松任谷正隆さんがサカナクション山口さんを好きで接点が多いということもあり、ユーミンと山口さんの距離感も近く、「媚びない」と感じさせたのかも知れない。

○他の回でもあのような感じなのか。

■基本はゲストを招かない、1人喋りの番組。かつて何度か、ユーミンが注目しているアーティストとしてゲストを招いたことはある。過去にはサチモスのヨンスなど。4~5ヶ月に1回くらいのペースだと思う。ラジオでの対談をキッカケにライブでの共演に繋がることもある。

○この番組の HP のブログは細かくいろいろな記載があるが、確かに対談というのは見かけることがないかもしれない。

■今回の対談も、お互いの音楽に対するリスペクトは以前からあったようだが、対談は初だったので、お互い聴きたいことがたくさんあって放送では編集された部分もかなりある。

5.放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6.議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送:番組「JOGLIS」

5月26日(土) 7:00～7:20 放送

② 書面:TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット:TOKYO FM ホームページ内 <http://www.tfm.co.jp/>

7.その他

次回の放送番組審議会を、6月5日(火)に開催することを決めた。